

持続可能な都市開発
フライブルク（ドイツ）からの実例

フライブルク副市長
ウルリッヒ・フォン・キルヒバッハ

持続可能な都市開発

フライブルク (ドイツ) からの実例

環境モデル都市国際セミナー2008／2008年12月14日 北九州市



フライブルク市副市長 ウルリッヒ・フォン・キルヒバッハ

フライブルク市の概要



- 人口: 220,000 人
- 面積: 150 平方キロメートル (その内 40% は森林地帯)
- 大学: 550年の歴史; 学生数 30,000 人
- 観光事業: 年間宿泊数 100万泊

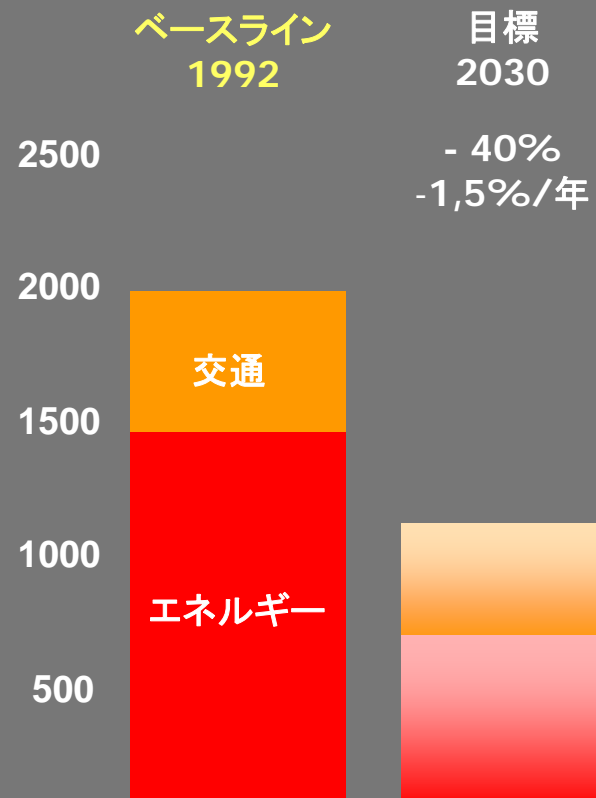
3つの理論

1. 都市にとって気候変動という難題はチャンスでもある!
2. 私達皆が直面する問題を解決する際、都市は大いに貢献できる!
3. 気候保護政策には、すべての利害関係者および市民の積極的参加が必要である!

歴史的発展：私達は「反対!」と言った



気候保護目標



単位: 1,000トン CO₂ 換算値/年



例 1 – 再生可能エネルギー



例 1 – 再生可能エネルギー



例 2 – なぜ住宅に関係があるのか？



ゼロ・エミッションのビル／フライブルク

例 2 – 旧から新へ

暖房用 220 kwh/m²a



38 kwh/m²a



グリースバッハとパートナー／フライブルグ

例 2 – 新しい2009年建築基準法

段階的にエネルギー効率のよい住宅へ (パッシブハウス)



模範となる「都市」



市役所／フライブルク

経済ファクターとしての持続可能性



ソーラーファブリック社／太陽光パネル製造

ご清聴ありがとうございました。



風車／フライブルク